

予測シート

Excel 2016では、過去の数値の推移をもとに、未来の数値の傾向を予測する「予測シート」という機能が用意されています。予測シートを使うと、未来の予測値が入った表とグラフを新しいシートに作成できます。

商品の出荷数を予測して在庫を管理したり、売上を予測して製造計画を立てたりする場合 に、予測シートを活用するとよいでしょう。



2 予測シートの作成

予測シートの機能を使って、乗用車の輸出動向を予測しましょう。未来予測の終了日付は 2017年4月1日とし、信頼区間は60%に設定します。



フォルダー「付録4」のブック「Excel2016の新機能-2」を開いておきましょう。



①表のB列に日付、C列に対応する数値がそれぞれ入力されていることを確認します。
②セル範囲【B3:C18】を選択します。
③《データ》タブを選択します。
④《予測》グループの (予測シート)をクリックします。



《予測ワークシートの作成》ダイアログボックス が表示されます。

予測シートが折れ線グラフでプレビューされます。

- ※過去の数値は青色の線、未来の予測値はオレンジ色の線で表されます。
- ⑤ (折れ線グラフの作成)が選択されていることを確認します。

⑥《予測終了》を「2017/4/1」に設定します。

※ をクリックすると、カレンダーが表示されます。
 ▲や をクリックして、目的の日付の月に切り替えた後、日付をクリックします。

折れ線グラフの未来予測の終了日付が変更 されます。

⑦ **(オプション)**をクリックします。

⑧《信頼区間》を「60%」に設定します。

⑨《作成》をクリックします。

1

				12016/08688	15-2 - Excel										
77-114	ホ − <i>L</i>	御入	ページレイアウト	数式 7		<u>ह</u> े	42		したい作業を入				9124	> &	共有
日 外部デー 取り込み	20 ELA	 コクエリの別 ゴークエリの別 ゴーテーブル ウー酸塩(株) 取得と変換 	8示 から オペモ ポソース 更新・1	日 接続 日 プロバティ 日 リンクの端原 接続	21 <u>2 2</u> 21 20~20 20~20 12 2	ス フィルター 下のの フィルター 下面の を開いたフィルター	7 BAR RURCHE	ित हण्णः इन्-		What-If 31	n 3938 5-1-	個が (個が) (個小) ア	レープ化 ・一プ細醇 け りトライン	41 di -5	~
A1		1 ×	√ ∫₁ 年度	t											*
1	A R 🗸	B 原用車 💌	C 予測(集用車) ▼	[信頼下服(D (順用車) 🖵 (E 三帧上限(順用車		F	G	Н	1		J	К	-
2	2000	1,792,111													
3	2001	1,829,085		3,000,000											_
4	2002	2,005,683		2 500 000											
5	2003	1,735,746					1	1							_
6	2004	1,734,904		2,000,000	1	~ /		1							_
7	2005	1,959,224	6			\sim		1		-	~				_
8	2006	2,451,617		1,500,000							1	-	_		_
9	2007	2,362,706		1,000,000											
10	2008	1,735,204													
11	2009	1,369,690		500,000											
12	2010	1,545,616													_
13	2011	1,533,268			2000 2001 20	02 2003 2004 2005	2006 20	07 2008	2009 2010 2	011 2012 20	3 2014 2	015 2016	i 2017		
14	2012	1,645,878				重	日東) -	- (18)	下蔵(東用軍)		2. 現代未用書	Ð			
15	2013	1,698,463													
16	2014	1,541,468	1.541.468		1.541,468	1.541.4	468								
17	2015		1,512,557		1,284,796	1,740,	318								
18	2016		1,483,362		1,145,277	1,821,-	448								
4	+	Sheet2	Sheet1 (9				1 1	d.].	

新しいシート「Sheet2」が作成されます。

- ⑩過去の数値と未来の予測値が入った表と 折れ線グラフが作成されていることを確認 します。
- ※《予測シート》のメッセージが表示された場合は、《了 解》をクリックします。
- ※ブックに「Excel2016の新機能-2完成」と名前を 付けて、フォルダー「付録4」に保存し、閉じておきま しょう。



STEP UP

グラフでは、予測の範囲がオレンジ色の細線で表されます。予測の上限値を「信頼上限」、予測の下限値 を「信頼下限」といい、信頼上限と信頼下限に囲まれた範囲が「信頼区間」です。信頼区間は、初期の設 定で95%になっています。信頼区間を小さくすることで、予測の範囲を狭めることができます。





STEP UP 《予測ワークシートの作成》ダイアログボックスの ■■ (縦棒グラフの作成)を選択すると、予測シートに 縦棒グラフを作成できます。





Step6 新しいグラフを作成する

グラフ機能の強化

Excel 2016では、グラフ機能が強化され、階層構造のデータをグラフにする「ツリーマッ プ」「サンバースト」、統計データをグラフにする「ヒストグラム」「箱ひげ図」、増減するデータ をグラフにする「ウォーターフォール」の5つのグラフを新しく作成できるようになりました。

1 ツリーマップ

ツリーマップは、全体に対する各データの割合を長方形の面積の大小で表すグラフです。 作物の生産量や商品の販売数などの市場シェアを表現する場合によく使われます。



2 サンバースト

サンバーストは、全体に対する各データの割合をドーナツの輪で表すグラフです。 地域別の人口比率や部署別の売上金額など、複数の階層があるデータの割合を比較する場 合によく使われます。



1

2

3

4

5

6

7

8

9

総合問題

付録

1

付録2

付録3

付録4

索引

3 ヒストグラム

ヒストグラムは、データの出現頻度を表すグラフです。値軸にはデータ件数、項目軸には区間 を表示し、データの分布状態を表します。

人口や売上などの傾向把握や異常値の発見によく使われます。



ヒストグラムの一種として「パレート図」も作成できます。パレート図は、項目別に集計した データを数値の大きい順に並べた縦棒グラフと、その累積値を折れ線グラフで表現した複 合グラフです。

商品の欠陥原因の分析など、品質管理の問題解決によく使われます。



4 箱ひげ図

箱ひげ図は、データのばらつきを表すグラフです。箱ひげ図で表現される長方形の箱とその 上下のひげは次の5つの値を示します。

ヒストグラムと同様、人口や売上などの傾向把握や異常値の発見によく使われます。複数の 項目で分析する場合に便利です。



5 ウォーターフォール

ウォーターフォールは、データの増減を棒グラフで表します。グラフは値がプラスかマイナス かがわかるように色分けされるので、増減を簡単に把握できます。 在庫や金融資産の推移を表現する場合によく使われます。



1

2

3

4

5

6

7

8

9

総合問題

付録